

動物看護学概論のできるまで ①

日本動物看護学会成立 25 周年を振り返って

日本動物看護学会理事長 桜井富士朗

日本動物看護学会の成立は 1995 年 12 月 9 日（日本獣医畜産大学会場・初代会長は今道友則先生）でした。本来ならば、今回の第 29 回大会で 25 周年記念行事をしなければならないところなのですが、新型コロナ禍で開催できるかも危ぶまれている中でのオンライン開催となりました。小沼守大会長をはじめ開催実行委員および開催スポンサーをお引き受けいただいた協賛企業の皆様には深く感謝申し上げます。

第 28 回大会も本年 2 月 8 日、9 日奈良県王寺町（崎山法子大会長）で開催されました。私も「ヒトとイヌの関わり：聖徳太子の愛犬雪丸のコミュニケーション」を市民公開講演でお話させていただきました。王子町公式ぬいぐるみの雪丸君も参加して大会を大いに盛り上げてくれました。その後の新型コロナ禍で緊急事態宣言が出てすべてのイベントが中止になったことを考えると、「神仏の加護」とはよく言われますが、まさに義犬雪丸のおかげ（加護）、奇跡の開催であった幸運を思わずにはられません。

各大会ごと幾多の困難を乗り越えて、本学会は今年 25 周年・第 29 回大会を迎えるのですが、第 1 回大会では、「学会は運動体ではなく知のレベルを高めるもの」と定義された上で、学会の当初の取り組むべき目標として「学問としての動物看護学の確立」「動物看護師の職域の検討」「育成カリキュラム策定とライセンス認定」が 3 本の柱として掲げられました。獣医業界ではじめて動物看護学の火がともった瞬間でした。

どれをとっても大きなテーマで弱小な学術団体のみで担えるテーマではなく、「職域の検討」は 2009 年発足の（一社）日本動物看護職協会に、「カリキュラムとライセンス」は 2011 年設立の（一財）動物看護師統一認定機構へと発展してゆき、2019 年「愛玩動物看護師法」の成立に至ります。

様々な活動を担い、時代にも翻弄され続けてきた本学会ですが、「動物看護学のレベルを高めていく」役割を発展させてゆく原点回帰こそが、本来の役割と考えております。

この講演では 25 周年の過去の歩みを掘り起こし、先輩たちがいかに動物看護学概論創造のために格闘してきたかを、振り返ってみたいと思います。年寄の昔話も温故知新で、時には役に立つこともありますよ。